

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN

# REFORM MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



## 狭い部屋を広く見せたい！ レイアウト・インテリア を駆使したリビングリフォーム

間取りや床面積の変更は大変だけれど、できることならリビングは今より広く見せたいですね。でも、具体的にはどこに手を加えれば良いのか、迷う方もいらっしゃるのではないでしょうか。実は空間を広く見せたいと思った時、どんな間取りにも通用するちょっとしたテクニックがあります。そこで、今回はレイアウトとインテリアで狭いお部屋を広く見せる方法をご紹介します。

## 狭い部屋を広く見せる方法① レイアウトで「抜け感」を作る



絵画の描き方に「遠近法」という手法があるのをご存じの方も多いでしょう。近くの物を大きく、遠くの物を小さく描くなどして、奥行きを深さを感じさせるという目の錯覚を利用したテクニックです。

これはお部屋のレイアウトにも効果的に活用することができます。例えば入口から奥に向かって伸びる直線のライン上に、視界を遮る家具などを置かないことで「抜け感」を作ります。具体的には手前に背の高い家具を設置し、奥に置く家具ほど低くコンパクトなものにすることで、グッと奥行きを感じさせることができます。また、その際に手前やサイドに設置する家具は圧迫感を感じさせないように、壁になじむ色や背板のない抜け感のあるものを選ぶと、より広がりのある空間を演出することができます。

## 狭い部屋を広く見せる方法② 配色・形状・鏡を利用する



レイアウトだけでなく、色使いや形状、インテリア小物で空間に広がりを持たせることも可能です。例えば壁や天井の色には膨張色を使うのがおすすめです。コーディネートとしては床→壁→天井と、上にいくほど明るい配色にすると、高さや広がりを感じさせることができます。

また、狭いお部屋では意識的に床面を空けることも室内を広く見せるコツです。家具を設置する場所は全体の1/3ほどに抑え、できるだけ余計なものを置かないなどの工夫をしてみましょう。収納スペースが少ない場合は、壁付け収納を取り入れるのもひとつの手です。

これ以外では壁に大きな鏡を掛けるのも効果的。対面が映り込むことでお部屋が広く感じられ、窓や照明からの光も反射するため、お部屋も明るくできますよ。

## リフォームで実現！開放的で広く見える部屋づくり

狭いお部屋をより広く、ワンランクアップした雰囲気に見せるには、空間に合わせたサイズ感や色選びがポイントになってきます。DAIKENではそんな部屋作りに役立つ、優れた建材を取り揃えています。

● 部屋に抜け感を作る便利な間仕切り



例えば上の写真にあるような、背板のない間仕切り収納『フィットシェルフ』を使えば、和の寛ぎ空間とリビングをゆるやかに分け、かつ双方の景観や採光を遮ることなく、抜け感のある空間を演出することができます。好みの小物や趣味のコレクションをギャラリーのように展示できるので、オリジナリティ溢れるお部屋作りを楽しんでいただけます。



また、お部屋の一体感を損なわず、さりげなく視線を遮れる『格子間仕切』は、最近海外から注目されているインテリアテイスト『ジャパネスク※』などの和モダンな空間にもフィットします。2つの空間を違和感なくセパレートしつつ、採光や空調の効果が得られるのも嬉しいメリットです。加えて格子状のデザインは縦のラインが強調されるため、天井が高く見えて狭いお部屋を開放的に見せてくれます。

※DAIKEN が提案するインテリアスタイル「ジャパネスク」の記事もご参照ください。

⇒ [「和モダンな家具が映える“おしゃれな部屋”『ジャパネスク』の魅力](#)

### ●広がり演出する白柄の天井



天井の色に明るいものを選ぶことも、狭いお部屋を広く見せるには効果的。色の膨張効果で天井を高く、採光の反射でお部屋を明るく見せることができます。

DAIKEN では、このような白柄天井向けのバリエーション豊富な製品を揃え、さらには機能性をプラスした天井材をご提案。例えば吸音効果があり、室内のテレビの音や人の声を聞き取りやすくする『クリアトーンシリーズ』。中でも『クリアトーン 12S II』は調湿性能と消臭性能もあるので、さらなる心地よい室内環境づくりにも貢献し、住まいの快適度をアップさせる天井材となっています。

### ●埋め込み収納で床面をスッキリ広く

狭い部屋を広く見せるには、床面にできるだけモノを置かない工夫も大切です。でも、細かいものが集まるリビングは、つい収納家具を増やしたくなる場所でもありますよね。

そんな時には、壁の厚さを利用した『壁厚収納』が役に立ちます。この製品は壁厚を利用して埋め込むように施工する収納なので、壁面はフラットでスッキリ、床に置く収納家具を増やす必要もありません。また、バリエーションもおしゃれな飾り棚の『ニッチ』や、ハンドルレスで中身が見えない収納扉など、豊富なラインアップが揃っています。暮らす人の使い勝手によって、好みのものを見つけることができるのも魅力です。

狭いお部屋を広く見せるには、今すぐ手軽にできる工夫ももちろんありますが、思い切ったリフォームをするからこそ実現できることも多いかと思えます。この機会に思い描く理想のお部屋作りを目指して、ぜひ検討してみてくださいはいかがでしょうか。